

製品名: CEL ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08627**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:20000-1:40000

分子量

抗原情報

遺伝子名	CEL
別名	CEL; BAL; Bile salt-activated lipase; BAL; Bile salt-stimulated lipase; BSSL; Bucelipase; Carboxyl ester lipase; Cholesterol esterase; Pancreatic lysophospholipase; Sterol esterase
遺伝子 ID	1056.0
SwissProt ID	P19835
免疫原	ヒト CEL の内部領域から得られた合成ペプチド。

背景

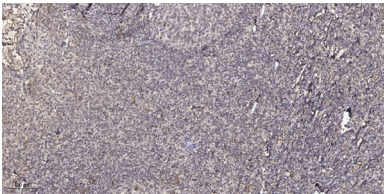
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、膵臓から消化管へ、また乳腺から母乳へ分泌される糖タンパク質です。このタンパ

ク質の生理学的役割は、コレステロールおよび脂溶性ビタミンエステルの加水分解と吸収です。このタンパク質は腸管における大カ
イロミクロン産生を促進します。また、血漿中に存在することから、コレステロールおよび酸化リポタンパク質と相互作用して動脈
硬化の進行を調節することが示唆されています。膵臓腫瘍細胞では、このタンパク質はゴルジ体内に隔離されており、分泌されないと
考えられています。この遺伝子のコード領域には、可変数のタンデムリピート (VNTR) 多型が含まれており、これがタンパク質の
機能に影響を与える可能性があります。 [RefSeq 提供、2008年7月]触媒活性: ステロールエステル + H(2)O = ステロール + 脂肪
酸。触媒活性: トリアシルグリセロール + H(2)O = ジアシルグリセロール + カルボン酸。疾患: CEL の欠陥は、若年成人発症型糖尿
病 8 型外分泌機能不全 (MODY8) [MIM:609812] の原因であり、糖尿病および膵外分泌機能不全 (DPED) としても知られていま
す。MODY [MIM:606391] は、常染色体優性遺伝の糖尿病です。膵臓は内分泌機能と外分泌機能の両方を担っています。内分泌細胞
はランゲルハンス島にあります。インスリンやその他のホルモンを合成し、糖尿病の発症に関与しています。外分泌細胞は重炭酸塩
と消化酵素を産生し、膵吸収不良の病因に関与しています。膵外分泌組織における膵島細胞の局在は、これら 2 つの細胞集団の正常
機能と異常機能の間に相互依存性と相互作用があることを示唆しています。酵素調節: 7 位水酸基を含む胆汁酸塩によって活性化さ
れます。機能: 脂肪とビタミンの吸収を触媒します。膵リパーゼおよびコリパーゼと協調して、食物中のトリグリセリドを完全に消
化します。類似性: B 型カルボキシルエステラーゼ / リパーゼファミリーに属します。組織特異性: 乳腺および膵臓。

研究分野

ステロイド生合成;グリセロ脂質代謝;

画像データ



パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°C で一晩)。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30 分)。